

モスモスパラダイス

今回のテーマはガ(蛾)、英語でモス(moth)です。植生が多様な学習園では多様なガを観察することができます。特に秋には幼虫をよく見かけることができます。そして成虫は様々な植物の訪花昆虫としても重要な役割を担っています。(その反面幼虫時代は大量に葉を摂食するので害虫にも成り得るのですが・・・。) そんなガと植物の関係をご紹介します。

みなさんのガ(蛾)に対してどんなイメージをお持ちでしょうか？

いつも暗いところにいる。地味。毒があつて怖い。何かとマイナスイメージがあると思います。

が(蛾)！じつは生物学的にはチョウと同じ仲間であとめて鱗翅目(りんしもく)と呼ばれています。国によってはチョウとガを区別しないところもあるとか。区別する際のポイントとしてチョウは昼行性、触角が棍棒状、翅を閉じてとまる、ガは夜行性、触角の先が細くクシ状やふさ状、翅を開いてとまる等があります。ただ、いずれの特徴も例外があり必ずしもそうではありません。

また、昆虫としてはチョウの方がメジャーなイメージがありますが日本では鱗翅目のグループのうちチョウは約 250 種類、ガは約 5,000 種類とも言われ、チョウは 5 % 程しかいません。世界では鱗翅目のうちの 8 割がガとされます。

チョウ



翅を閉じてとまるツマグロヒョウモン

ガ



翅を開いてとまるエビガラスズメ

～幼虫と食草の多様性～

ガは幼虫時代の餌として木や草の葉を食べます。チョウと同様に幼虫時代の食草はある程度決まっている種と様々な種類の葉を食べる広食性の種類がいます。センターには様々な植物があるので様々なガと出会えます。その一部をご紹介します。(紹介している食草は一例です。)



：幼虫時代の主な食草マーク

スズメガ類
大きいヤマモリガ類!

幼虫



幼虫はヌルデやワリを食べる広食性

旧学名の種小名は月の女神アルテミス
オオミズアオ

成虫



成虫になると口は退化して
いて餌を食べることはない



ブナ科：クヌギ



ウルシ科：ヌルデ



存在感抜群！
大型のスズメガ類

美しいモスグリーン
ウンモンズズメ



成虫はよく見かける…

ニレ科：ケヤキ



表面がザラザラタイプ
トビイロスズメ



幼虫は黄色くない
キイロスズメ



緑色型



褐色型

危険を感じると頭を丸める

ヤマノイモ科：ニガカシュウ



ガの幼虫もバッタやカマ
キリのように、同じ種であ
っても緑色型や褐色型と
いった異なるタイプの体
色があることも。

触るな危険！毒ありのガ
ヒロヘリアオイラガ

幼虫



成虫



マットグリーンな
サザナミ模様が美しい！
ケンモンミドリキリガ



バラ科、カキノキ科等広食性

折れた木の枝！？
ツマキシヤチホコ



ブナ科広食性



学習園遭遇率 No.1
セスジスズメ

幼虫
初齢



終齢



移動するときに尾角が動く



ブドウ科：ヤブカラシ



成虫



大型幼虫のフンは
まるで手榴弾！

～大事な夜のお供～
植物との繋がり

成虫のガの多くは夜に行動
する夜行性です。メリット
としては天敵が少ない
(活動していない)、
訪花の競争相手が
少ない等が考えられ
ます。その際に重要に
なってくるのが採蜜相手
です。夜に行動しても餌となる花の蜜が
得られなければ意味がありません。
日中に開花する植物が多い中、夜に開花
する植物もあります。植物にとっても夜
に開花することは競争相手が少なく、訪
花昆虫を独り占めできるという訳です。

夜にだけ咲く
カラスウリ



まだまだたくさん
その他のガ！

マットグリーンな
サザナミ模様が美しい！
ケンモンミドリキリガ



バラ科、カキノキ科等広食性

折れた木の枝！？
ツマキシヤチホコ



ブナ科広食性



冬に活動する逆張りタイプ
イチモジフユナミジャク

オス



メス



冬
尺
蛾

成虫は餌を食べない。
メスの翅は退化してい
て短く、飛ぶことはない。

まだまだ紹介したい種類がありますが載せきれません！是非、野外で観察してみたり図鑑を調べたりしてみてください。